

# もものはな

2024 年が始まりました。1 月 1 日には能登半島地震という大きな地震（災害）が起きてしまいました。多くの方々が亡くなられました。謹んで哀悼の意を表したいと思います。また、被災された皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。

3 学期の始業式の日には、子供たちに、地震の怖さについて改めて話をしました。「自分の命は自分で守る」と地震から自分の身をどう守っていくか日頃から意識し、地震に対する備えも進めながら日々の生活を送っていきましょうと話しました。



児童玄関の正面に貼ってあります

## 《 弁護士出前授業 》

1 月 12 日金曜日、弁護士出前授業が行われました。これは山梨県弁護士会による「出前授業」として行われたものです。授業では、県弁護士会より派遣された亀山弁護士により、「個を尊重する自由で公正な社会にふさわしい市民を育成すること」を目的として、いじめ防止について具体的な裁判事例のお話なども聞きながら、どうしたらいじめがなくなっていくのか、その解決法等についてみんなで考えていきました。授業を受けた 6 年生一人一人が、いじめをどのようにしてなくしていったら良いのかを考えていき、いじめをなくすためには、大勢のみんなの力でいじめを行っている人に注意を与えることによっていじめをなくしていくことが大切だと学びました。



弁護士出前授業の様子

## 《 プログラミング学習 》

1 月 12 日金曜日、6 年生を対象としたプログラミング学習の特別授業が開かれました。これは子供たちにコンピューターを利用したプログラミングの学習に慣れ親しんでもらおうと開かれたものです。授業にはソフトバンクのロボットのペッパー君も二台やって来てくれました。子供たちは、昨年度に引き続いて 2 度目の授業になります。まず初めに去年の復習から始まって、プログラミングのやり方を確認しました。今年是一人ひとりのタブレットパソコンでプログラミングを作成し、ペッパー君の画面で、4 分割した画面のどこかにタッチすると、プログラミングした動作が動くようにしました。画面をタッチするとおみくじになったり、お気に入りのイラストが出てきたり、キャラクターが出てきたりするなど一人一人オリジナルのプログラムを完成させました。そして、みんなで楽しむことができました。



プログラミング学習の授業の様子



完成したプログラムをダウンロードして

ペッパー君の画面にタッチ

感じる心がなければ言葉は符牒（ふちょう）に過ぎない。路傍（ろぼう）の瓦礫（がれき）の中から黄金をひろい出すというよりも、むしろ瓦礫そのものが黄金の仮想であった事を見破る者は詩人である。

（詩人 高村光太郎）

「道程」「智恵子抄」で有名な詩人 高村光太郎さんの言葉です。私は詩人ではないので、言葉のがれきから黄金を拾い出すことはできませんが、「言葉」を「日常」に置き換えると、何気ない日常に埋もれた普通の生活そのものが黄金なのだと気づかせてくれているように感じます。今日も朝、信号のところで児童の見守りをしている時に、見守り活動で送ってきてくれた方と「今日はこんなに寒いけど、普通に生活できることだけでもどんだけありがたいことか、、、」とのやり取りがありました。私も「そうですね。」と大きくなずきました。普通に生活できるだけでも、もうありがたい、感謝でいっぱいだと思います。

（小田切英史）